



8 月うぶやま天文台星空情報 4

ペルセウス座 流星群が極大



天空が広がるうぶやまの高原は、暑い夏の季節を迎えましたが、高原の涼しい風が吹いています。梅雨も明け、素晴らしい星空が輝いています。

今年も三大流星群のひとつであるペルセウス座流星群の季節がやって来ました。

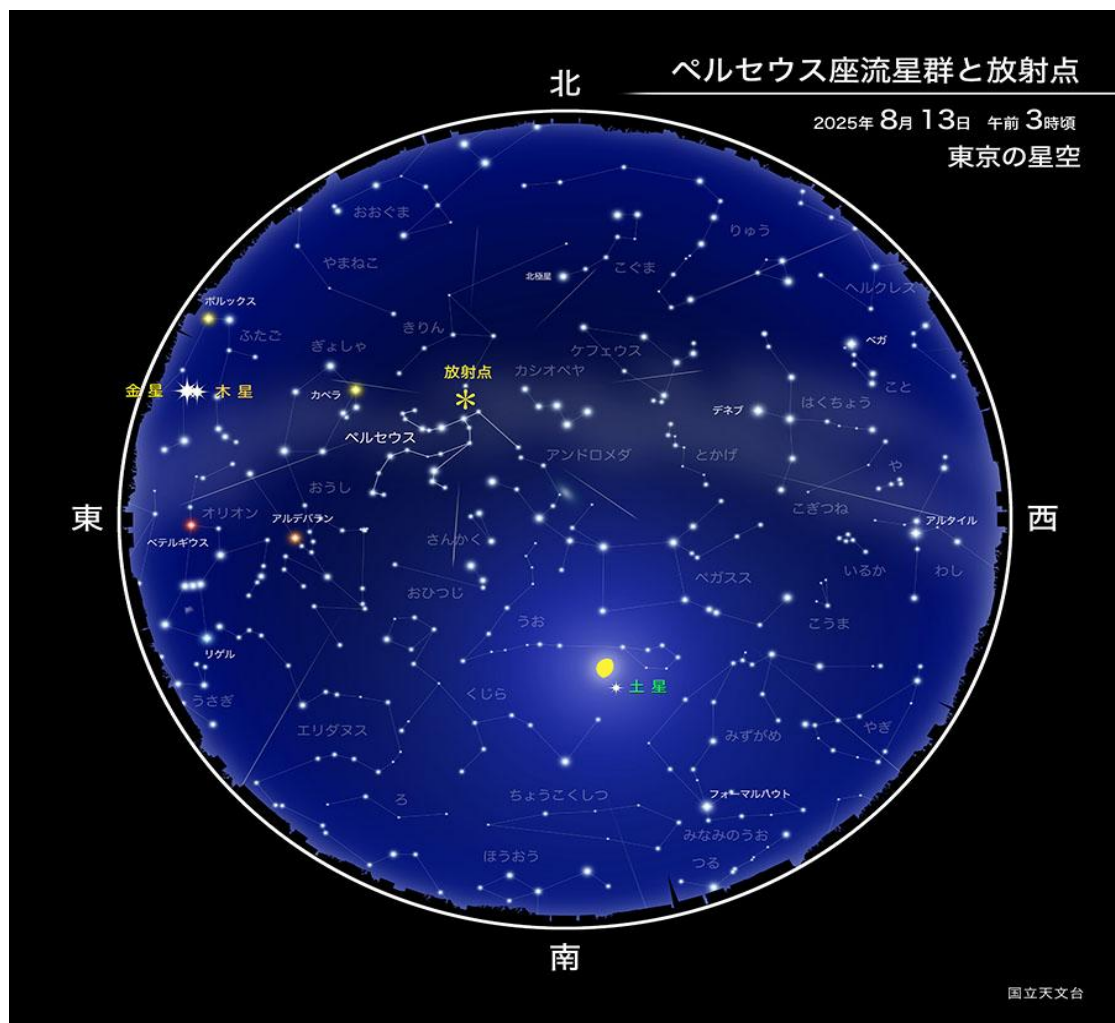
2025 年のペルセウス座流星群の活動は、8 月 13 日の 5 時頃に極大となることが予想されています。この時間帯は日本のほとんど地域で薄明が始まっているか、日の出後であり、星がほとんど見えない時間帯です。したがって、その直前となる 12 日深夜から 13 日未明にかけて多くの流星が見られそうです。ただ、空には明るい月が輝いており、見える流星の数は例年より少なめとなりそうです。月明かりに負けない明るい流星に期待しましょう。

普段より多くの流星をみることができるのは、11 日の夜から 13 日の夜までの 3 夜程度でしょう。いずれの夜も、21 時頃から流星が出現し始め、夜半を過ぎて薄明に近づくにつれて流星の数が増えると予想されます。

最も数多く流れるのは、13 日の夜明け前の頃(3~4 時)と考えられ、空の場所では流星数は 1 時間当たり 30 個程度が期待されます。

前後の日ではこれより少なくなり、前日の 12 日 3 時台では 1 時間あたり 15 個程度、この翌日にあたる 14 日の 3 時台では 1 時間あたり 20 個程度の流星が見られそうです。

流星は、放射点を中心に放射状に出現します。ただ、放射点付近だけでなく空全体に現れます。いつどこに出現する分かりませんので、なるべく空の広い範囲を見渡せるようにしましょう。また、目が屋外の暗さに慣れるまで、最低でも 15 分ほど観察を続けると良いでしょう。レジャーシートを敷いて地面に寝転んだり、背もたれが傾けられる椅子に座ったりすると、楽な姿勢で観察できます。事故に遭わないように十分注意し、マナーを守って観察をしてください。



数多くの流星が観察できるのは、13日3時～4時頃です。